

人間の探求 ～ 先人を温故創新して、現代に役立たせる ～

2023年8月5日は 早稲田大学 早稲田校での講座【ジャンル 人間の探求：がんと生きる哲学 医師との対話を通して『がん』と生きる方法を考える。】に赴いた。【テキスト『がん細胞から学んだ生き方「ほっとけ 気にするな」のがん哲学』（へるす出版)】を用いて、今回の箇所は『晝一枚ほどの墓』で、筆者が、影響を受けた、【南原繁(1889～1974)、新渡戸稲造(1862～1933)、内村鑑三(1861～1930)、矢内原忠雄(1893～1961)、吉田富三(1903～1973)の経歴】を紹介した。

多磨霊園には南原繁、新渡戸稲造、内村鑑三、矢内原忠雄の墓がある。筆者は、多磨霊園を散歩しながら、【内村鑑三の『我々には晝一枚ほどの墓しか残らない』を復習する。『大いなる人物の収穫物は、存命中に実ったものだけではありません。つまり、後世に生まれた私たちは、彼らの残したものを温故創新して、現代に役立たせなければなりません。そんなことを多磨霊園の散歩で再確認するのです。』】と述べた。多数の質問もあり、大変充実した講座であった。

その後、『いのちのことは社』（中野区）での『オンラインセミナー』に赴いた（画像）。【講師：樋野興夫氏 小澤竹俊氏 テーマ：『死を意識して生きる希望』 内容：病理学者としてがんに向き合ってきた医師、樋野興夫氏は、全国で『がんカフェ』を展開し、がん患者の苦悩を和らげる活動を行なっています。また、小澤竹俊医師は、横浜で終末期の在宅医療を行う傍ら、ホスピスマインドを生かして、同じ地域に住む苦しむ人に 手を差し伸べる人材を育てる活動も行っています。不治の病などに苦しむ人に寄り添うお二人に、死を起点に人生を考える先にある希望について 語っていただきます。】と紹介されていた。大変貴重な『オンラインセミナー』であった。今後、『オンラインセミナー』の様子が製本をされる予感がする。

8月6日は、幸手キリスト教会(埼玉県幸手市)での『2023年がんカフェ幸手』の講演会に赴いた（画像）。 医師、看護師、教師、学生も参加されていた。 真摯な質問もあり、さらに講演後は、皆様と『分かち合いの場』が企画された。 大変有意義な『幸手の旅』となった。

配信視聴チケット

医師／めぐみ在宅クリニック

小澤竹俊

医師／順天堂大学名誉教授

樋野興夫

ONLINE
SEMINAR

死を意識して生きる希望

2023.09.29(金)
>>>> 20:00 - 22:00
アーカイブ配信あり

2023年がんカフェ幸手

講演と個別相談会

日時 8月6日(日)

11:30-14:00

講師

樋野興夫先生

順天堂大学名誉教授
がん哲学外来名誉理事長
新渡戸稲造記念センター長
恵泉女学園理事長

内容

11:30-12:15 講演会
12:15-13:45 個別相談会(希望者)
" 小グループで分かち合い } 同時進行
13:45-14:00 分かち合いの発表と総括

申込

8月3日(木)までにお申し込みください。

◇会場・申し込み先: 幸手キリスト教会

幸手市上吉羽97-4 TEL0480-42-1075

代表: 田沼和幸

顧問: 高野みどり(元上武大学看護学部准教授)

◇参加費: 席上献金あり(茶菓子・コピー代)